



西米良中便り

第35号

令和2年3月25日発行

<学校の教育目標>

郷土を愛し心身ともに健康で生き生きと活動する生徒の育成

☆ホームページも随時更新中！ 西米良中で検索してください。



1か月振りの「西米良中便り」が、本年度の最終号となりました・・・

前回の34号が2月25日付けで、ちょうど1か月振りです。そして、この35号が本年度の最終号となりました。突然で、長い臨時休業となり、予定していた行事もできないまま今日の日を迎えました。ただただ、「残念」としか言いようがありません・・・

そんな状況でも生徒の皆さんは「自宅近くで過ごす」というたいへんな日々を、言いつけを守って過ごしてくれているようです。改めて本校の生徒の姿勢や保護者の方々のご理解に感心・感謝することしきりです。



第73回 卒業式 16日(月)

6名が巣立ちの日を迎えました。本人にとっても学校にとっても一番大事で、一番感動的な時間です。これまでの思い出が頭を巡る中で、「我々は何を伝えてきたのか」「生徒にどんな力をつけることができたのか」、そんなことを自問自答する機会でもあります。

今回は前日までの練習なし、卒業式当日の1時間弱の打ち合わせ程度で臨んだ卒業式でしたので、まさに3年間の積み重ねが見える卒業式となりました。終わってから「やっぱり、うちの生徒はすごい！」「これぞ西米良中！」、そう思いました。

↓ 美術の奥野先生と撮影

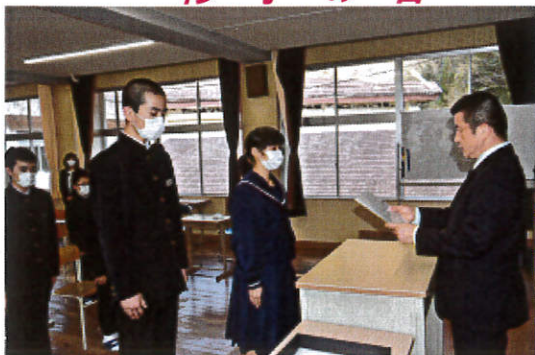


入賞おめでとう！

学校に「保護司会だより」をいただきました。その中で、第69回社会を明るくする運動作文コンテストにおいて、康士郎君の「子供は宝」という作文が「宮崎県保護司会連合会長賞（優良賞）」として掲載されていましたので紹介します。（裏面をご覧ください。）

修了の日

25日(水)



← 修了証授与

↓ 代表で反省を述べた生徒



卒業式の式辞でも話したのですが、この一年間の私のスローガンは「去年よりも上へ そして前へ」でした。卒業した6名を中心にして、様々な行事でこれまでの先輩たちに負けない活躍をしてくれたことを嬉しく思いますし、何よりも自分たちの満足感や成長に繋がったことと思います。

また、テレビ会議システムを使っての宮崎大学の学生さんとのやりとりなど、新たな取組も始まりました。先輩が卒業した今、すでにバトンは1・2年生の手にあります。それを自覚するのは、4月の始業式ではなく今だと思えます。これからどんな歴史を築いてくれるか、楽しみです。

本年度も本校の活動へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。